

## 法人本部 業務運用方針

- ◆ **本学園に関わる/繋がるすべての人々が活躍でき、他者の立場に立って/考えて業務を遂行し、評価/信頼を得られる組織の実現を目指す。**
- ◆ **利害関係者のニーズと期待を反映した業務運用の組織づくりと業務サービス提供を実現する。**
  - ・ 職員一人ひとりが生き生きと活躍できる組織づくりを目指す。
  - ・ 学生・生徒等が納得できる教育を受けられる、質の高い教育を提供できる学園の実現に取り組む。
  - ・ 学園内外の顧客要求事項を明確にし、理解し、満たす組織づくりを目指す。
  - ・ 社会的責任として法令・規制要求事項を明確にし、コンプライアンス順守を推進する。
  - ・ 委託業者や取引先との連携を高め、より付加価値と評価の高い業務運営と成果の実現を目指す。
- ◆ **本学園の目的及び状況に対して、戦略的な方向性を支援する。**
  - ・ 本マニュアルの順守と方針・目標の達成を目指す。
  - ・ 業務運用目標設定のための枠組みを作成し実践する。
  - ・ 業務運用の適合並びに顧客満足を向上させる能力に影響を与え得る、リスク及び機会を決定し取り組む。
  - ・ 業務運用マネジメントシステムの継続的改善を実践する。
- ◆ **本業務運用方針は、文書化した情報として利用可能にして維持し、本学園内に伝達され、理解され、適用されることを実践し、必要に応じて、密接に関連する利害関係者が入手可能にする。**
  - ・ 本業務運用方針は、適宜、経営チームや部長連絡会で見直しを行う。
  - ・ 本業務運用マネジメントシステムの要求事項を満たすことにコミットする。

2022年4月1日

学校法人桜美林学園 法人本部長 後藤章寛

## 学校法人 桜美林学園 法人本部 業務運用目標

- ◆ 法人本部の各部門で「方針・目標展開シート」を作成し、80%以上の目標達成を目指す。
  - ・ 達成及び進捗状況を経営チームに定期的に報告し、PDCAサイクルによる目標管理を行う。
  - ・ 経営チームへの報告は、原則として四半期毎に行う。
  
- ◆ 法人本部の各部門で「業務運用一覧表」及び「業務プロセスフロー」を作成し、業務運用を見直し、業務運用プロセスの改善目標を「方針・目標展開シート」に入れて改善に取り組む。
  - ・ 改善目標には3W1Hの情報を含め、進捗及び達成の程度が分かるように設定する。
  - ・ 業務運用プロセスの改善目標の一部には、働き方改革に沿った改善指標を含める。
  - ・ 改善指標の一例として、生産性向上、利便性向上、業務及び工数削減、業務ス削減、経費削減、デジタル化推進、法令順守、コンプライアンス推進、ガバナンス強化、などを推奨する。

2022年4月1日

学校法人桜美林学園 法人本部長 後藤 章寛